

研究成果の刊行に関する一覧表

1. 論文発表

<平成24年度>

- 1) 藤瀬大輝, 田中和明, 岸田直裕, 秋葉道宏. カビ臭産生 *Anabaena* 属の分類について. 用水と廃水 2012;54(8):569-73.
- 2) 下ヶ橋雅樹, 秋葉道宏. 水道におけるエネルギー・環境対策の現状と展望. 用水と廃水 2012;54(10):33-41.

<平成25年度>

- 3) Kishida N, Konno Y, Nemoto K, Amitani T, Maki A, Fujimoto N, Akiba M. Recent trends in microorganism-related off-flavor problems in drinking water treatment systems in Japan. Water Sci Technol:Water Supply 2013;13(5):1228-35.
- 4) 藤本尚志, 村田昌隆, 大西章博, 鈴木昌治, 矢島修, 山口茂, 岸田直裕, 秋葉道宏. 分子生物学的手法による濁度障害原因生物の解明. 水道協会雑誌 2013;82(5):2-10.
- 5) 今本博臣, 田作光良, 古里栄一. 曝気循環によるアオコ・カビ臭抑制の効果検証 9 ダム貯水池の実証実験結果から— . ダム工学 2013;23(4):278-89

<平成26年度>

- 6) Fujimoto N, Matsuo E, Murata M, Nomura K, Ohnishi A, Suzuki M, Enmoto K, Yamaguchi S, Yanagibashi Y, Kishida N, Akiba M. Evaluation of the small-eukaryote community composition in a mesotrophic lake by sequencing the 18S rRNA genes. Jpn J Water Treat Biol 2014;50(2):85-94.
- 7) Kishida N, Sagehashi M, Takanashi H, Fujimoto N, Akiba M. Nationwide survey of organism-related off-flavor problems in Japanese drinking water treatment plants (2010–2012). J Water Supply Res T (in press).
- 8) 岸田直裕. アオコによる利水障害の実態. 水環境学会誌 2014;37(5): 175-8.

2. 学会発表

<平成24年度>

- 1) 横山友紀, 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 蘭勝司, 岸田直裕, 秋葉道宏. 分子生物学的手法による宮ヶ瀬湖におけるピコシアノバクテリア群集構造解析と変動要因の評価. 第47回日本水環境学会年会; 2013年3月; 大阪. 同講演集. p.14.
- 2) 石原匠, 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 山口茂, 岸田直裕, 秋葉道宏. 分子生物学的手法による草木湖における真核ピコプランクトンの生物相の解析. 第47回日本水環境学会年会; 2013年3月; 大阪. 同講演集. p.664.
- 3) 大谷将太郎, 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 山口茂, 岸田直裕, 秋葉道宏. 分子生物学的手法による草木湖におけるピコシアノバクテリア群集構造解析. 第47回日本水環境学会年会; 2013年3月; 大阪. 同講演集. p.665.

<平成25年度>

- 4) Fujise D, Akiba M, Kuroda EK, Fukushima N, Hasegawa M, Tsuji K, Harada KI. Production behavior of volatile organic compounds from various cyanobacteria; The 10th IWA Symposium on Off-Flavours in the Aquatic Environment; 2013 Oct; Tainan; Taiwan. Proceedings of the 10th IWA Symposium on Off-Flavours in the Aquatic Environment. p.40.
- 5) Kishida N, Sagehashi M, Takanashi H, Akiba M. Nationwide survey of microorganism-related off-flavour problems in Japanese drinking water treatment plants (2010-2012); The 10th IWA Symposium on Off-Flavours in the Aquatic Environment; 2013 Oct; Tainan; Taiwan. Proceedings of the 10th IWA Symposium on Off-Flavours in the Aquatic Environment. p.69.

- 6) Aktas T.S., Fujimoto N., Kishida N., Akiba M., Aikawa Y., Nishimura O. Comparison of coagulation performance and floc characteristics of polysilica iron (PSI) and poly aluminum chloride (PACl) for water treatment; Seventeenth International Water Technology Conference IWTC; Nov 2013; Istanbul; Turkey. Abstracts of Seventeenth International Water Technology Conference IWTC. p.42.
- 7) 今本博臣, 太田志津子, 田作光良. 曝気循環設備を用いたアオコ・カビ臭抑制のための実証実験. 応用生態工学会第 17 回研究発表会; 2013 年 7 月; 大阪. 同講演集. p.191-4.
- 8) 宮内悠馬, 高梨啓和, 中島常憲, 大木章, 下ヶ橋雅樹, 岸田直裕, 秋葉道宏. 生物障害の発生に伴う浄水処理プロセスのエネルギー消費量の変化の解析. 環境科学会 2013 年会; 2013 年 9 月; 静岡. 同講演要旨集. p.36.
- 9) 藤瀬大輝, 田中和明, 岸田直裕, 秋葉道宏. 浄水場濁度管理におけるピコプランクトンカウンターの実用性評価. 第 64 回全国水道研究発表会; 2013 年 10 月; 郡山. 同講演集. p.528-9.
- 10) 藤本尚志, 藤瀬大輝, 岸田直裕, 秋葉道宏. 分子生物学的手法によるろ過漏出障害の原因生物の評価. 第 64 回全国水道研究発表会; 2013 年 10 月; 郡山. 同講演集. p.530-1.
- 11) 安斎英悟, トッグルル・セラミ・アクタス, 藤本尚志, 岸田直裕, 李淳和, 秋葉道宏, 西村修. ピコ植物プランクトンの凝集特性に関する基礎的研究. 第 48 回日本水環境学会年会; 2014 年 3 月; 仙台. 同講演集. p.196.
- 12) 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 岸田直裕, 秋葉道宏, 村田直樹, 野田尚宏, 松倉智子, 関口勇地. 次世代シークエンサーによる鱈川の植物プランクトン生物相の評価. 第 48 回日本水環境学会年会; 2014 年 3 月; 仙台. 同講演集. p.245.
- 13) 岸田直裕, 下ヶ橋雅樹, 高梨啓和, 秋葉道宏, 藤本尚志. 浄水場における生物由来の異臭味障害対応の全国実態調査. 第 48 回日本水環境学会年会; 2014 年 3 月; 仙台. 同講演集. p.419.
- 14) 小高千裕, 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 藤瀬大輝, 岸田直裕, 秋葉道宏. 分子生物学的手法による相模湖のピコシアノバクテリア生物相の評価. 第 48 回日本水環境学会年会; 2014 年 3 月; 仙台. 同講演集. p.618.
- 15) 福田真美子, 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 村田直樹, 岸田直裕, 秋葉道宏. 分子生物学的手法による鱈川の植物プランクトン生物相の評価. 第 48 回日本水環境学会年会; 2014 年 3 月; 仙台. 同講演集. p.619.
- 16) 水野恵伍, 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 岡崎慎一, 岸田直裕, 秋葉道宏, 野田尚宏, 松倉智子, 関口勇地. クローニングおよび次世代シークエンサーによる宮ヶ瀬湖のピコシアノバクテリア群集構造解析. 第 48 回日本水環境学会年会; 2014 年 3 月; 仙台. 同講演集. p.620.
- 17) 遠藤沙紀, 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 藤瀬大輝, 岸田直裕, 秋葉道宏. 分子生物学的手法による浄水場におけるろ過漏出障害原因生物の評価. 第 48 回日本水環境学会年会; 2014 年 3 月; 仙台. 同講演集. p.630.
- 18) 高梨啓和, 宮内悠馬, 中島常憲, 大木章, 下ヶ橋雅樹, 岸田直裕, 秋葉道宏. 生物障害の発生に起因する浄水処理プロセスのエネルギー消費量の変化の解析. 平成 25 年度日本水環境学会九州支部研究発表会; 2014 年 3 月; 鹿児島. 同講演要旨集. p.31.

<平成26年度>

- 19) 高橋威一郎, 河野博幸, 高瀬勝教, 田村智美, 馬見塚守, 岐津英明. 原水中のピコプランクトンに関する計測方法 蛍光顕微鏡の観察条件及び前処理ろ過の検討. 日本水道協会平成 26 年度全国会議. 2014 年 10 月; 名古屋. 同講演集. p. 530-1.
- 20) 藤本尚志, 大西章博, 鈴木昌治, 藤瀬大輝, 岸田直裕, 秋葉道宏. クローニング法および次世代シークエンサーによるろ過漏出障害原因生物の評価. 日本水道協会平成 26

- 年度全国会議；2014年10月；名古屋．同講演集．p.540-1．
- 21) 岩谷梓，渡邊洋大，北村壽朗．相模川本川滞留域における障害生物の繁殖事例．平成26年度日本水道協会関東地方支部水質研究発表会；2014年11月；東京．同講演集．p.29-31．
 - 22) 安齋英悟，千葉信男，秋葉道宏，西村修．ピコ植物プランクトンに対する凝集ろ過法の効果．日本水処理生物学会第51回大会；2014年11月；甲府．日本水処理生物学会誌別巻第34号．p.12．
 - 23) 渡邊英梨香，藤本尚志，大西章博，鈴木昌治，藤瀬大輝，岸田直裕，秋葉道宏．分子生物学的手法による浄水場処理工程水のピコシアノバクテリア生物相の評価．第49回日本水環境学会年会；2015年3月；金沢．同講演集（印刷中）．
 - 24) 下ヶ橋雅樹，高梨啓和，秋葉道宏．浄水処理プロセスにおける生物障害のエネルギー環境負荷．化学工学会第80年会；2015年3月．同講演要旨集（印刷中）．